

# 定格総荷重表 注意事項

## 定格総荷重表注意事項

1. 定格総荷重表は水平堅土上において機体を水平に設置した状態での保証できる最大荷重を示しており、ブーム作業時は主フックとつり具、SLジブ作業時は補フックとつり具等の質量を含んだ値です。  
 なお、太線の内側は、機械の強度によって定められ、下側は機械の安定度によって定められています。
2. 定格総荷重は、アウトリガの張出幅とカウンタウエイトの取付状態により次表の様に区分されます。

### 重荷重

カウンタウエイト	24t	16t
アウトリガ張出幅		
8.4m	BB1	BB1

### ブーム (SLジブ横抱)

カウンタウエイト	24t	16t	8.5t	16 or 24t キャリヤ格納	0 or 8.5t キャリヤ格納
アウトリガ張出幅					
8.4m	A1	B1	C1	D1	E1
7.4m	A2	B2	C2	D2	E2
6.4m	A3	B3	C3	D3	E3
5.4m	A4	B4	C4	D4	E4
4.4m	A5	B5	C5	D5	E5
3.4m	/	B6	C6	D6	E6

### ブーム (SLジブ無)

カウンタウエイト	24t	16t	8.5t	16 or 24t キャリヤ格納	0 or 8.5t キャリヤ格納
アウトリガ張出幅					
8.4m	NA1	NB1	NC1	ND1	NE1
7.4m	NA2	NB2	NC2	ND2	NE2
6.4m	NA3	NB3	NC3	ND3	NE3
5.4m	NA4	NB4	NC4	ND4	NE4
4.4m	NA5	NB5	NC5	ND5	NE5
3.4m	/	NB6	NC6	ND6	NE6

### ブーム (SLジブ付)

カウンタウエイト	24t	16t	8.5t	16 or 24t キャリヤ格納	0 or 8.5t キャリヤ格納
アウトリガ張出幅					
8.4m	JA1	JB1	JC1	JD1	JE1
7.4m	JA2	JB2	JC2	JD2	JE2
6.4m	JA3	JB3	JC3	JD3	/
5.4m	JA4	JB4	JC4	JD4	/
4.4m	JA5	JB5	JC5	/	/

### SLジブ

カウンタウエイト	24t	16t	8.5t	16 or 24t キャリヤ格納	0 or 8.5t キャリヤ格納
アウトリガ張出幅					
8.4m	SA1	SB1	SC1	SD1	SE1
7.4m	SA2	SB2	SC2	SD2	SE2
6.4m	SA3	SB3	SC3	SD3	/
5.4m	SA4	SB4	SC4	SD4	/
4.4m	SA5	SB5	SC5	/	/

3. 作業半径は、ブームおよびSLジブのたわみを含んだ実際の値にもとづいていますので、必ず作業半径を基準として作業を行ってください。
4. SLジブの作業半径は、44.0、48.0または52.0mブームにSLジブを装着してクレーン作業を行う場合の値です。44.0m未満のブーム長さでSLジブ作業を行う場合は、作業半径ではなく44.0mブームのブーム角度を基準としてください。
5. ブーム長さ、ブーム角度、作業半径、SLジブ長さおよび角度が規定の値をこえる場合には、その規定の値と、次の規定の値の定格総荷重のうち小さい方の定格総荷重を目安として作業を行ってください。
6. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表の通りです。  
ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
7. SLジブを装着したままでブーム作業を行う場合の定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりフックその他つり具等の質量の他に7.6tを差し引いた値とし、かつ上限を50tとします。  
SLジブのオフセット角度は、15°以下にしてください。  
なおSLジブを装着したままでのルースタシーブ作業は行わないでください。
8. ルースタシーブの定格総荷重は、ブームの定格総荷重よりブームに取付けられているフックその他の吊り具等の質量を差し引いた値とし、かつ上限を7.8tとします。  
【ルースタシーブ使用フック: 7.8tフック (質量250kg) 巻掛本数1】
9. 総荷重が70tをこえる場合は重荷重装置 (130tフック+シーブブラケット) を使用してください。
10. 各々の作業状態におけるブーム危険角度は表のとおりです。ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意してください。
11. 各ブーム長さに対する標準フック巻掛本数は表のとおりです。ただし標準巻掛本数以外の巻掛で使用する場合は、ワイヤロープ1本当たり76.4kN (7.8tf) を限度としてください。
12. 高速巻下作業は、フックのみを降下するときに使用してください。また急激なレバー操作はさけてください。
13. クレーン作業は風速10m/sまで可能ですが、比較的弱い風の場合でも受風面積の大きい荷重を取扱う場合は特別な注意を払ってください。
14. 定格総荷重をこえる作業を行った場合、および正しい使い方を行わなかった場合は転倒または破損します。この場合本機の保証はいたしません。
15. 本仕様は改良等により予告なく変更することがあります。